令和４年度長洲町立腹赤小学校だより　　Ｒ４.６.２４　№６　　文責：校長　左村　良一

はらか

教育理念
よい習慣を持った子どもに

重点的に育成をめざす資質・能力
〇やり通す力（笑顔）
〇考動力（挑戦）
〇協働する力（思いやり）

６月は　～心の絆を深める月間～

６月は「心のきずなを深める月間」です。いじめを許さない学校・学級を目指して、学校全体で取組を進めています。６月１日（水）の校長講話では、北原白秋の「ひとつのことば」という詩を提示し、次のような話をしました。

ひとつのことば　北原白秋

ひとつのことばで　けんかして
ひとつのことばで　なかなおり
ひとつのことばで　頭がさがり
ひとつのことばで　心がいたむ
ひとつのことばで　楽しくわらい
ひとつのことばで　泣かされる
ひとつのことばは　それぞれに
ひとつの心を　もっている
きれいなことばは　きれいな心
やさしいことばは　やさしい心
ひとつのことばを　たいせつに
ひとつのことばを　うつくしく

６月は、いじめをなくし、みんなが楽しく過ごせる学校にするための取組をしていきます。校長先生はいじめを絶対許しません。腹赤小学校の先生方もそう思っています。みんなが楽しく過ごせる腹赤小学校にするために、心掛けてほしいことがあります。それは、言葉を大事にしてほしいということです。人を笑顔にする言葉、人を元気にする言葉、人を励ます言葉を使っていきましょう。それは、「ありがとう　すごいね　がんばっているね　ドンマイ　どうしたの　一緒に遊ぼう」といった声です。友達ががっかりするような言葉や悲しくなるような言葉は使わないようにしましょう。

どんな言葉が悲しい気持ちにさせるのか、どんな言葉が嬉しい気持ちにさせるのか、子どもたちなりに理解しています。しかし、「分かっていてもつい・・・」といったことが見かけられます。また、友達への呼び捨てなど、荒っぽい言動が見られる時もあります。今年度の取組の重点事項の一つである、「他を思いやること」に関して、今後も繰り返し発信していきます。

ABC の取組　～登校班で一礼～

今年度から取り組み始めた「腹赤っ子ならできる５つの ABC」。右の写真は、その中の「登校班で一礼」の様子です。５月の連休明けから始めましたが、児童玄関前で「おはようございます」と一礼が少しずつできるようになってきました。とてもいい声であいさつができる班もあり、そういった姿に元気をもらっています。まだまだ声が出なかったり、きちんとした礼ができなかったりする子どもも多いですが、適切な指導や評価を繰り返しながら、全員がしっかりできるようになることを目指していきます。

水俣に学ぶ肥後っ子教室

６月７日（火）に５年生が「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加しました。コロナ禍で、中止になったり、リモート学習になったりしていたので、現地での学習は３年ぶりとなりました。水俣病資料館では、館内見学や語り部の方の講話を聞いて学びました。また、県立環境センターでは、地球温暖化やごみ問題など環境学習を体験的に学ぶことができました。

７月の行事について

１日(金)：町浄水場見学(４年)
５日(火)：たてわり掃除
７日(木)：授業参観　学級懇談会
８日(金)：読み聞かせ
１２日(火)：地区児童会
２０日(水)：夏休み前集会
２１日(木)～８月２８日(日)：夏休み
※７日の授業参観は、人権学習を公開します。ご参観の際は、廊下での参観やマスク着用等、感染防止にご協力お願いします。
※腹赤小学校のホームページ　随時、更新しています。　腹赤小学校で検索